

1. 使用教材

〈中学受験の攻略 理科〉

この教材は5年生から6年生向けで、基礎的な内容から県内校・県外中堅校まで対応可能です。各単元は、学習のまとめと問題演習で構成され、問題は難度別に「確認問題」「練習問題」「入試対策問題」の3段階に分けられています。

5年生の授業では、学習のまとめと確認問題を通じて、受験基礎の定着を目指します。6年生では、練習問題まで取り組みます。

県外校向けの「入試対策問題」については、一部の頻出問題のみについて解説する予定です。

2. 授業の進め方

●要点の解説

各単元は2～4時間のペースで進行します。

●単元確認テスト

各単元終了後に確認テストを実施します。テストの内容はテキストの確認問題から約60%、学習のまとめから約40%、そして授業で補足した内容を1～2問出題します。

授業中に解いた問題は家庭学習で復習し、それらをテストで解答できるレベルまで理解を深めましょう。

3. お勧めの家庭学習

●授業の復習

確認問題を再度解いて内容を理解するように努めましょう。学習の要点で出てくる語句を自分なりに説明できるかどうか確認してください。

●土佐塾模試の反復

授業のテストで80点以上得点できれば、土佐塾模試の過去問題演習を推奨します。具体的な学習の流れは「問題を解く → 採点 → 当日の復習」「翌日以降に間違えた問題を再解答 → 採点 → 復習」となります。目標は80～90%の正答率で、同じ問題を2～3回繰り返して解くことをお勧めします。復習は、間違えた問題の正解と理由を確認し、教材に戻って知識の補強をしましょう。

●クイズグランプリ

1セット10問の四択問題です。スキマ時間を使った学習にご活用ください。毎月カテゴリーが指定され、そのカテゴリーで上位に入賞すると景品がもらえます。

●ノートにまとめる

主要な点を書き出すことができる、または内容を頭に入れながら書くことが可能ならば、ノートにまとめることを推奨します。ただし、写経型(テキストの丸写し)は記憶に残りにくいのでお勧めしません。

4. 苦手対策

初めは広く浅く学び、その後詳細に深く掘り下げて復習を繰り返すことをお勧めします。

家庭学習で教材を読んだり、確認問題とその答えを暗記するだけでも、継続することで知識は着実に増えていきます。

問題演習は、自宅で答え合わせが可能な教材を利用することをお勧めします。